

一般国道307号（奥山田バイパス） （宇治田原町奥山田）

一般国道307号は、滋賀県彦根市を起点とし、宇治田原町、城陽市、京田辺市を経由して、大阪府枚方市に至る延長約105kmの幹線道路で、京奈和自動車道等の広域幹線に連絡し、関西文化学術研究都市へのアクセス道路となる重要な路線であり、災害時に重要な役割を担う第2次緊急輸送道路に指定されています。

奥山田バイパスは、平成16年度に完了した裏白バイパスに引き続き着手したものであり、幅員狭小、線形不良区間について、延長約1.7kmのバイパス事業を実施するものです。平成17年度より新規着手し、大杉トンネル・奥山田2号橋が完成しています。

平成30年度は、道路築造工、舗装工を推進し、全体区間の完成、供用を図ります。

◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H17～H30 事業延長：1,7km 幅員：6.5(8.0)m 総事業費：約40億円	事業概要：道路築造工 トンネル工 橋梁工 事業費：約34億円	事業概要：道路築造工 舗装工 事業費：6.0億円

◎事業効果

- 大型車の離合が容易となり、通行車両や歩行者の交通の安全性と利便性が向上します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 滋賀県との交流連携を促進します。

施工の状況（切土部）



施工の状況（奥山田1号橋）



位置図

